

【単位：ベクレル／k g】

— 家畜の粗飼料について —

●牧草 測定分析機関：独立行政法人農林水産消費安全技術センター(FAMIC)

採取日	採取場所	放射性ヨウ素 (粗飼料中の放射性物質の暫定許容値 農林水産省設 定値 乳用牛 70)	放射性セシウム (粗飼料中の放射性物質の暫定許容値 農林水産省設 定値 乳用牛・肥育牛 300 左記以外の牛 5,000)
7月13日	大崎市	不検出	45
6月8日	大崎市	不検出	209
6月1日	大崎市	不検出	253
5月19日	大崎市	不検出	250
5月11日	大崎市	不検出	350

●飼料用とうもろこし 測定分析機関：東北大学

採取日	採取場所	放射性ヨウ素	放射性セシウム (粗飼料中の放射性物質の暫定許容値 農林水産省設 定値 牛, 馬, 豚, 家さん等 300)
8月2日	大崎市	不検出	4

●発酵粗飼料用イネ 測定分析機関：東北大学

採取日	採取場所	放射性ヨウ素	放射性セシウム (粗飼料中の放射性物質の暫定許容値 農林水産省設定値 牛, 馬, 豚, 家さん等 300)
8月9日	大崎市		不検出
9月13日	大崎市二箇所		不検出
			不検出

●今年産稲わら 測定分析機関：東北大学

採取日	採取場所	放射性ヨウ素	放射性セシウム (粗飼料中の放射性物質の暫定許容値 農林水産省設定値 牛, 馬, 豚, 家さん等 300)
9月16日	大崎市		不検出
9月26日	大崎市		不検出

今年産稲わらの調査結果が、暫定許容値を下回っていることが確認されたことから、今年産稲わらの給与及び敷料、土壌改良資材としての利用の自粛要請が解除となりました。

— 堆肥について —

牛ふん堆肥 測定分析機関：独立行政法人農林水産消費安全技術センター(FAMIC)

NO	採取場所	採取日	結果 (Bq/kg)
			放射性セシウム
1	大崎市－1	9月6日	検出限界未満
2	大崎市－2	9月6日	検出限界未満
3	大崎市－3	9月6日	検出限界未満

①「検出限界」は、牛ふん堆肥の国の検査方法により、50ベクレル/kgである。

②大崎市については、検査した3検体の測定値定値が全て暫定許容値(400ベクレル/kg)以内となったので、「個別検査対象※」を除く牛ふん堆肥製造所等の堆肥の出荷・施用が可能となります。

※個別検査対象とは汚染稲わらを給与・利用した牛の排せつ物等を原料とした牛ふん堆肥の製造所、畜産農家等